

第39回 本山町社会福祉大会

本山町立用  
嶺北中央病院

# もとやま 社協だより

# 2024

HAPPY NEW YEAR



# 1

Jan.2024  
Vol.87  
新年あいさつ

WANT TO

# 明けまして おめでたい ございませう



旧年中は皆様のあたたかいご支援、ご協力に厚くお礼を申し上げます。また、地区にお伺いしての懇談会では、地域の課題やこれから取り組みたい事などたくさんお聞かせいただき、ありがとうございました。

この皆様の思いを今年、策定を進める「第四期本山町地域福祉活動計画」にしっかりと反映させていただきます。

昨年12月には四年ぶりに39回目の「本山町社会福祉大会」を開催する事が出来ました。大勢のご参加を得て賑やかな集いとなりました。大会では「誰もが安心して暮らせる地域は地域住民の繋がりがあってこそ出来る。」という大会決議をいたしました。地域の課題は一つ、二つではなく、複雑に相関して存在します。課題を一つ、一つ協働して解決していくには人と人の

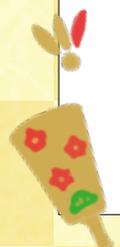


会長 山北 修司

繋がりが必須の条件であるとの決議です。この決議は今後、皆様と我々社協にとって大切な指針となると強く思います。

本年も役員一同、引き続き皆様の信頼や期待にお応えするため、更なる努力をして参りますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

この一年が幸多き、実り多き、明るい年となりますように心からお祈りいたしております。



# 「はじめまして」 から 「またね」へ



永島さんとドーンじゃんけん！

少し寒くなってきた11月。本山小学校3年生と一緒に「永島さんと仲良くなるう」というテーマで福祉教育を行いました。永島さんは、高知県立障害者スポーツセンターで勤務されている車イスユーザーの女性です。もし、永島さんが本山小学校に転校してきたら…と想定して『一緒に楽しめる運動会の種目をみんなで考えてみよう！』というところで、四つのチームに分かれて頭と心を使って考えてみました。ポッチャ、転がすドッジ、車いす競争、ボール投げ、座って玉入れ・・・各チームたくさんの種目を考えてもらい、永島さんと一緒にプレーするにはどんな工夫を取り入れたら良いのか発表し合いました。休憩時間には児童の皆さんから「一緒にドーンじゃんけんやろう」と声を掛け、永島さんは小学校で流行っているじゃんけんを皆と一緒に楽しんでいました。後半はもっと仲良くなるための質問コーナーの時間です。「その車いすは乗りやすいですか？」「車いす生活で一番大変なことは何ですか？」「お風呂はどうやって入るんですか？」その質問の一つ一つに丁寧に答えてくれる永島

さん。対話を通して少しずつ距離が縮まっていきます。最後は永島さんが車に乗り移る場面を見ながらお見送りしました。車の横に車いすをつけて移動するためには一定の広さが必要で、車いすの出し入れの時は車のドアも最大限開かなければいけません。屋根のない駐車場では雨天時苦労します。なぜ車いすマークの駐車場が広いのか、その意味を実際に目の前で感じた皆さん。短い時間でしたが、永島さんとの交流を通して自分ではない誰かの気持ちを考えてみるこの大切さ、スロープやエレベーターの鏡等の物の工夫や、玄関に靴を脱ぎっぱなしにしない等の気持ちの工夫で誰もが気持ちよく暮



どんな工夫をしたら楽しめるかな？



ワクワク発表タイム

らしていけること・・・何か心に残ったものがあったのではないのでしょうか。最後の感想でも「人のためにできて嬉しかった」「新しいルールができてワクワクした」と楽しみながら学んだ様子が伝わってきました。多くの小学校を回っている永島さんにとっても、休み時間に児童の皆さんから誘ってくれて一緒に楽しく遊んだことは初めての体験だったようで、「また皆さんと一緒に何かできることがあれば嬉しいです」と話してくださいました。100分間の交流は皆の心にぬくもりを宿しました。

# 第39回本山町社会福祉大会

令和5年12月4日（月）本山町社会福祉大会を開催しました。新型コロナウイルスの影響により、令和元年度以来開催ができておらず、4年ぶりの開催となりました。

## 表彰者

- 民生委員 谷田 久様
- 監事 吉村 さつき様
- 監事 小笠原 公男様
- 評議員 真鍋 朋三様
- ボランティア 川村 艶子様
- ボランティア 高井 ミツ子様



始めに、本山町の地域福祉の発展向上に寄与された方々の表彰式を行いました。長年にわたり、民生委員活動やボランティア活動、福祉施設で従事されたことや本会の監事、評議員として地域福祉に貢献された方6名が表彰されました。

表彰式の後には大会テーマに沿って進んでいきます。今回は「本山町のみんで考える地域共生社会」他人事を我が事に考えるためのヒント。動物の多頭飼育問題から見てきた背景とは」を大会テーマとし、日頃から動物の多頭飼育問題に携わる方々をお招きし、<sup>※2</sup>パネルディスカッション形式で本山町の地域共生社会について会場の皆さんと共に考えました。

高知県立大学社会福祉学部教授の田中きよむさんを中心にNPO法人アニマルサポート高知家の吉本由美さんと掛水恵子さん、れいほくねこ部の高橋飛鳥さん、本山町役場健康福祉課の高橋千尋さんに本会職員も参加させて頂き、まずは日々直面している多頭飼育問題を中心に報告していきます。現状だけでなく、多頭飼育問題の背景に隠れている本人の特性や取り巻く環境を共有する中で「家族や地域の中で孤立していることがあること」「個人の責任だけでは解決することが難しい状況にある場合が多い」ということが特に共通して感じていることでした。



出店についてもしゃくなげ荘、れいほくの里どんぐり、れいほくねこ部の皆様からご協力頂き、休憩時には会場がとても賑わっていました！ありがとうございました！



## それぞれの思い

その後、参加者からも質問や意見をたくさん頂きました。猫の糞尿被害で悩んでおられる方や飼い主のマナーの問題だと思っ方、自身が協力できることや地域猫についてなどそれぞれに感じていることを発言して頂きました。予想していたよりもたくさんの方の声を聞くことができ、とても大切な時間となりました。

今回、多頭飼育問題を通して、地域共生社会や地域の問題について考える第一歩目の取り組みとして、「知ること」と「共に考える時間を持つこと」ができたように感じています。

多頭飼育問題を抱えた人も多頭飼育問題で困っている人も今回初めて問題を知った人も積極的に支援をしている人も・・・地域で生活しているすべての人が自分らしく暮らしていけるためには・・・

すぐに答えが出ることではないですが、これからも住民のみならずとも地域共生社会について考えていきたいと思えます。

## ★多頭飼育問題の定義

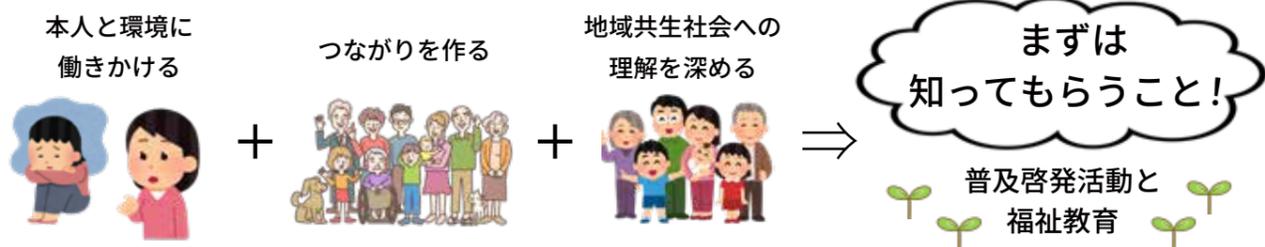
「多数の動物を飼育しているなかで、適切な飼育管理ができていないことにより、下記の3つの影響のいずれか、もしくは複数の問題が生じている状況」

- ① 飼い主の生活状況の悪化
- ② 動物の状態の悪化
- ③ 周辺の生活環境の悪化

「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」環境省より

## ★背景と課題

多頭飼育問題の背景に高齢、経済的困窮、依存症、障害特性（コミュニケーションが苦手だったり、理解するのが難しかったり・・・）、家族と疎遠などの福祉的な問題が隠れている可能性があります。それに加え、糞尿トラブルや本人の特性などから地域から孤立し、寂しさや情報不足、手助けを得られない場合が多いことから多頭飼育問題がさらに深刻化しているのではないかと考えています。



社協では他団体と連携しながら生活に問題を抱える世帯に対して働きかけを行っています。

お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

※2 パネルディスカッションとは・・・ある問題について異なる意見をもつ代表者数人が、座談会形式で参加者の前で討議し、のちに参加者が質問などを通じて討議に加わるもの

※1 地域共生社会とは・・・世代・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源がつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会



**森を知る第一歩**  
 所属するツリークライミングチーム「ワンダーツリー高知」は、アウトドアに力を入れる町の要望を受けて発足しました。  
 専用ロープとサドルを使って、安全に木登りを楽しむのがツリークライミングです。メンバーのほとんどが林業関係者で、ツリークライミングを楽しんでもらうことによって「森と人との接点」になればと頑張っています。「土佐れいほくで遊ぼう」他、年に10回ほど帰全山公園を拠点にイベントを開催しています。



**黒文字茶・土佐薪火三年番茶**

妻がとにかくお茶が好きで、住むうちに見えてきた地域の課題(使われない茶畑が獣害の温床になっている)や、山に自生する黒文字の有効活用などを考えた結果、製茶をするようになりました。現在、販売している黒文字パウダーを活用し、お菓子の製造販売等にも着手したいと思っています。

※土佐町の手焼きせんべいの店「べりりん」さんで、黒文字パウダーを使ったおせんべいも販売中です。

かわばた としお  
**川端 俊雄 さん**

**本山町**

に移住したきっかけは、高知県で林業に就きたくて、巡り合ったのが地域協力隊(林業振興活動員)の求人でした。

3年ほど奄美大島に住んでいた頃に、山仕事のバイトを経験し【心身ともに、とても気持ちのいい仕事】だという印象を持ちました。

美術系の専門学校を卒業した後、塗装等の仕事に従事し2015年に本山町に移住。本山町は人が温かく、食べ物が美味しい地域だと感じました。現在、林業を軸にし林業の講師業・製茶業・薪販売・YouTuber「セイカの暮らし便り」・花火師の仕事をしています。



**林業の魅力と挑戦**

**住民と共に考える持続可能な未来**

**林業、安全装備義務化**

危険な仕事と思われがちですが、心掛けと安全装備で怪我や事故は半減できると考えています。チェーンソー取り扱い者に向けての安全講習の講師もしていますが、事故に繋がるのは作業者の過信と、安全装備への軽視からくるものがほとんどです。自然が相手なのでまったくのゼロにすることは難しいにしろ、これらを林業界全体で守ることができれば、「とにかく林業は危険な仕事!」というイメージはなくなると思っています。実際、自分が10年ほど前に怪我したのは、完全な過信と安全装備をしていなかったのが原因です。今は、雇用者・被雇用者ともに法的に義務化されています。



**自然から学ぶ環境問題**

若い世代に林業や山のことを知ってもらうため、嶺北高校2年生を対象に、嶺北産材を使った楽器を作る授業を請け負っています。環境教育は全般的に力を入れており、声がかかれば町外でも出張授業を行っており、今後は地元の小中学校でも、このような機会をいただきたいと考えています。

**自分で建てる家**

安田町で行われた建築ワークショップ「いえづくり教室」で妻と出会い、そのころから公言していた「自分で伐った木で家を建てる」という言葉の通り、現在、大石地区にセルフビルドで新居を建設中です。正直なところ常に心配事が尽きませんが、「終わり良ければすべてよし」の座右の銘を心に、家族で楽しみながら早期完成を目指しています。



**今後、挑戦したいこと**

林業では、町が推進する「地域フォレスト」を目指しており、ゆくゆくは夫婦で、建設中の新居を中心に、田舎暮らしや林業の体験ができる「山暮らし体験パーク(仮)」をつくり、県内外から人に訪れてもらえるような拠点づくりをしています。





本山町老人クラブ

11月17日の金曜日。本山町老人クラブ連合会・秋の研修旅行として、佐川町と越知町へ行ってきました。前日まではあいにくの天気で、旅行当日も雨が心配されましたが何とか持ちこたえ、参加者のみなさんは佐川町の町並み歩きや越知町の横倉山自然の森博物館を見学されました。

**佐**川町の町並み歩きでは、日本酒の試飲を楽しまれる方や牧野博士ゆかりの資料を展示している「青山文庫」を見学する方。牧野博士が幼いころ通っていた「名教館」を見学する方などがおり、朝ドラで話題になった牧野富太郎博士に思いをはせていました。



博士ゆかりの植物が咲いていました



牧野博士が生誕した場所、岸屋



日本酒の試飲も楽しみました



牧野博士が小さいころ通った名教館



かつおのたたきに舌鼓♪

**昼**食はまきのさんの道の駅・佐川で。新鮮なかつおの刺身やタタキなどの豪華な料理に皆さん舌鼓を打たれていました。次回の研修旅行は3月に実施予定です。暖かくなってきましたら、皆さんそろってまた元気に旅行へでかけましょう！今回参加出来なかった方も、次回の参加を心よりお待ちしております。

# 老人クラブ連合会 4ヶ町村グラウンドゴルフ大会



本山町老人クラブ

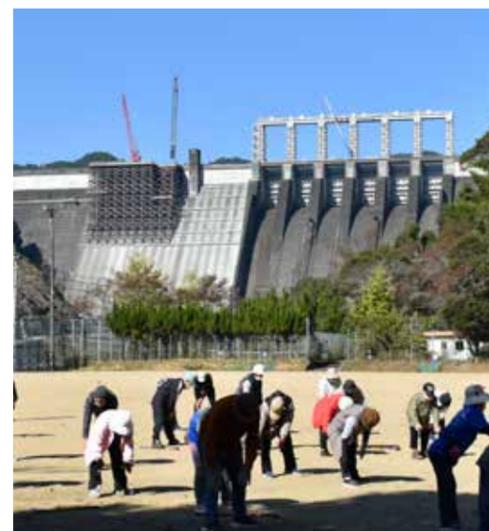
カーンツ！

コーンツ！

秋風に負けず熱気溢れる

自分との戦い

ここは吉野運動公園グラウンド——11月1日に4ヶ町村グラウンドゴルフ大会が開催されました。早明浦ダムのおもてなしで、参加者たちは笑顔と真剣な表情を交えながらプレイしていました。グラウンドゴルフはチーム戦ではなく、自分自身との戦い。それぞれのプレイヤーが自己ベストを更新するため、熱い戦いが繰り広げられていました。



みなさん、揃って準備体操



本山町長あいさつ



青空の下、楽しくプレイされていました

- 洋画
- 日本画
- 書道
- 写真
- 工芸
- 彫刻

第52回高知県

# オール パワ 文化展

令和6年3月14日(木)  
～19日(火)

高知県立美術館にて開催されます！！

この文化展では、昭和39年4月1日以前に生まれた方の洋画・日本画・書道・写真・工芸・彫刻の作品を展示しています。入場は無料です。関心のある方は高知県立美術館へ出かけてみてはいかがでしょうか？

☆文化展の開催にあわせて、出品者を募集しています！

- 本山町社協への搬入日：3月8日(金)
- 搬出日：3月19日(火) 15時～17時 または3月20日(水・祝) 9時～正午
- 出品資格：県内在住者または出身者で昭和39年4月1日以前に生まれた方(共同制作可)
- 出品部門：洋画・書道・写真・工芸・彫刻 ※出品作品規格があります。
- 出品手数料：一点につき1,000円(老人クラブ会員は無料)

☆搬入時に出品申込書の提出が必要となります。  
出品申込書は本山町社協にありますのでご連絡ください。

【申込・問い合わせ先】

本山町社会福祉協議会 ☎76-2312

## 身体障害者連盟！4年ぶり、香川研修旅行！！

11月9日の木曜日。お天気にも恵まれて、本山町身体障害者連盟・秋の研修旅行へ行ってきました。今回の旅行先は香川県にある宇多津町。最初の目的地は四国水族館です。到着すると、遠足で来ていた園児や学生などでにぎわっていました。参加者の皆さんはきれいな建物の水槽の中にある海の生き物にうっとり♪クラゲを見て癒され、きれいな魚たちに見とれていました。中でもイルカのショーは間近で見ることができ、大迫力でした。四国水族館から見る瀬戸内海はお天気の良さも相まって絶景！参加者の皆さんで集合写真も撮影しました。



瀬戸内海をバックに記念撮影



イルカの水槽の中に人がいました



きれいな海の中の生き物たち①



きれいな海の中の生き物たち②



クラゲに癒されました

続いての目的地は四国水族館に隣接しているゴールドタワー。地上127mの高さから見下ろす瀬戸内海は最高の景色でした。次回は春に研修旅行を実施予定です。ただいま本山町身体障害者連盟では会員を募集しております。

ご興味・ご関心のある方は0887-76-2312までお気軽にお問い合わせください。



ゴールドタワーをバックに記念撮影



ゴールドタワーから見た瀬戸内海

# ☆ ★輝け! もとやまっ子



ゆうき  
越智 結規くん 本山小学校6年

## 耐久性にすぐれた 家や公共施設を作りたい

ぼくの夢は建築士になることです。

理由は、二つあります。一つ目は、作ることやこんな感じで作ろうと計画することが好きだからです。

二つ目の理由は、家を作って、みんなに見てもらって、依頼してくれた人に喜んでほしいからです。

この職業に興味をもったきっかけは、母の妹の家を見た時、こんな家を作ってみたいと思ったことです。二階には真ん中に庭みたいなものがあり、そのほかにもロフトや1人1人の自分の部屋など、いろいろな部屋があって、そんな家を作りたいと思いました。

もし、建築士になれたら自分の家やいろんな人の家などを設計して、依頼をしてくれた人を喜ばせたいです。他にも今までにないような家を設計したり、耐久性にすぐれた家などを作ったりして、一級建築士になり、みんなの喜ぶような家や公共施設を作りたいです。

これからは一級建築士になるため、数学や英語をがんばりたいです。

## 日常生活自立支援事業

# 生活支援員募集!!

### 日常生活自立支援事業とは

ひとりで判断することに不安を感じる方が地域の中で安心して生活することができるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の援助を行う事業です。

本山町社会福祉協議会の非常勤職員として、勤務して頂きます。

★活動費：1,000円/1時間

★活動時間・頻度：応相談

(週に1回～月に1回程度 ※利用者の方の支援計画によります)

皆様のご協力をお待ちしています!!

### 生活支援員とは

日常生活自立支援事業を利用する方に対して、支援計画に基づき定期的な自宅訪問等を行い、福祉サービスの利用援助、預貯金の出し入れ、支払代行等、直接支援を行う人です。※支援計画は職員が作成します。

